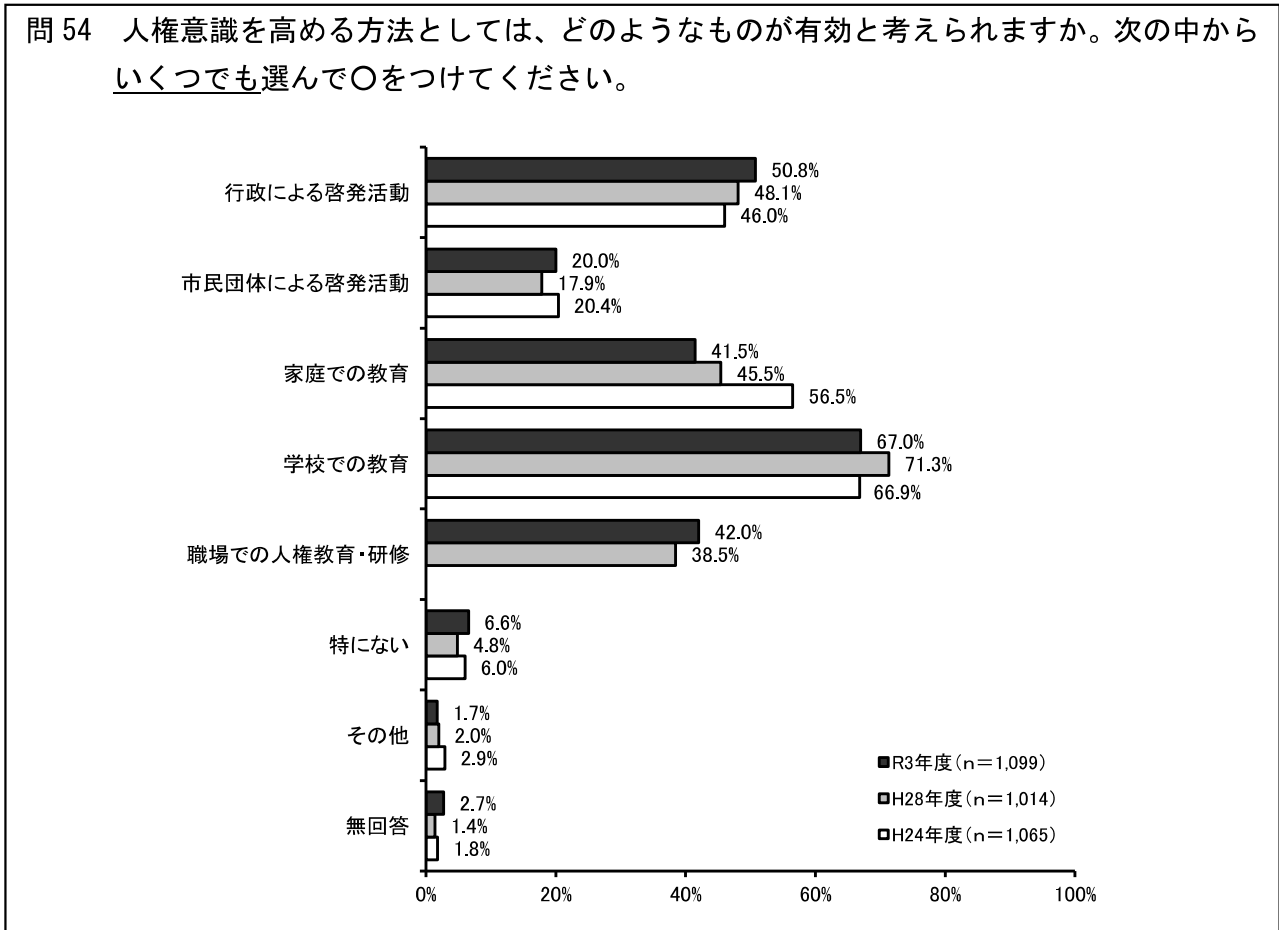


3-20 人権教育・人権啓発の方法について

(1) 人権意識を高める方法

問 54 人権意識を高める方法としては、どのようなものが有効と考えられますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



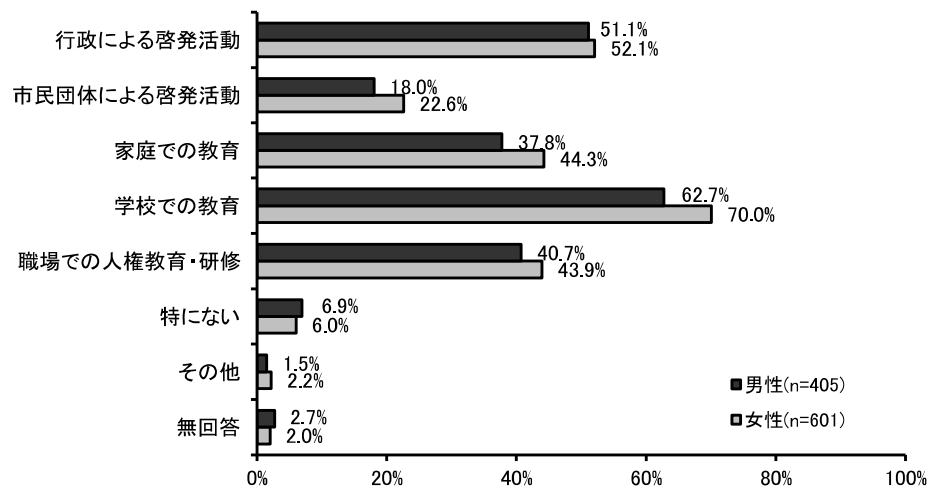
■ 「学校での教育」が67.0%で最も高く、次いで「行政による啓発活動」が50.8%、「職場での人権教育・研修」が42.0%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■ 「家庭での教育」は前回の45.5%より4.0ポイント、前々回の56.5%より15.0ポイント減少している。

■ 「職場での人権教育・研修」は前回の38.5%より3.5ポイント増加し、「行政による啓発活動」は前回の48.1%より2.7ポイント、前々回の46.0%より4.8ポイント増加している。

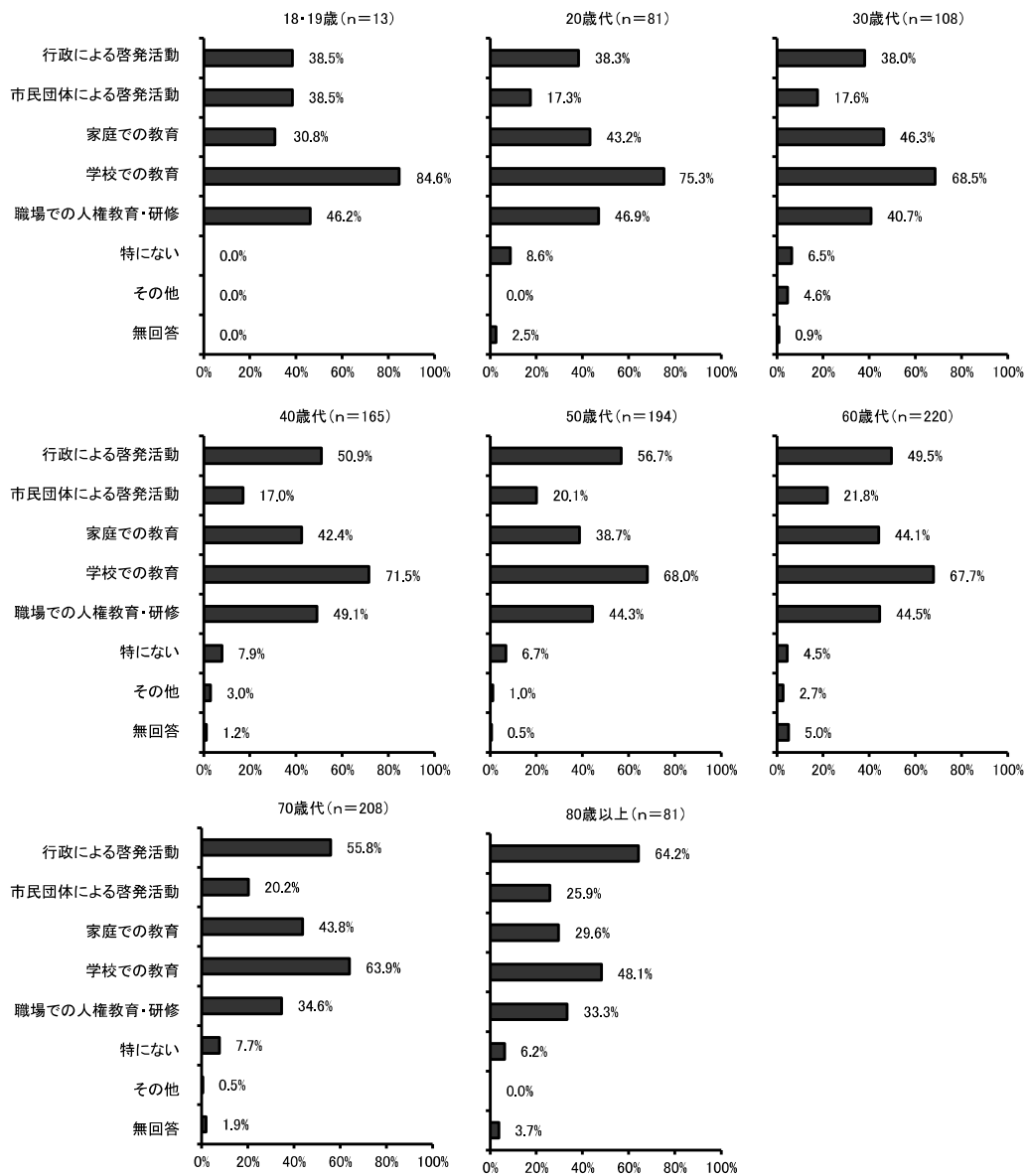
男女別



■男女共に「学校での教育」が最も高く、6割を超えている。

■「特にない」、「無回答」を除くいずれの選択肢においても女性が男性より高くなっている。

年代別



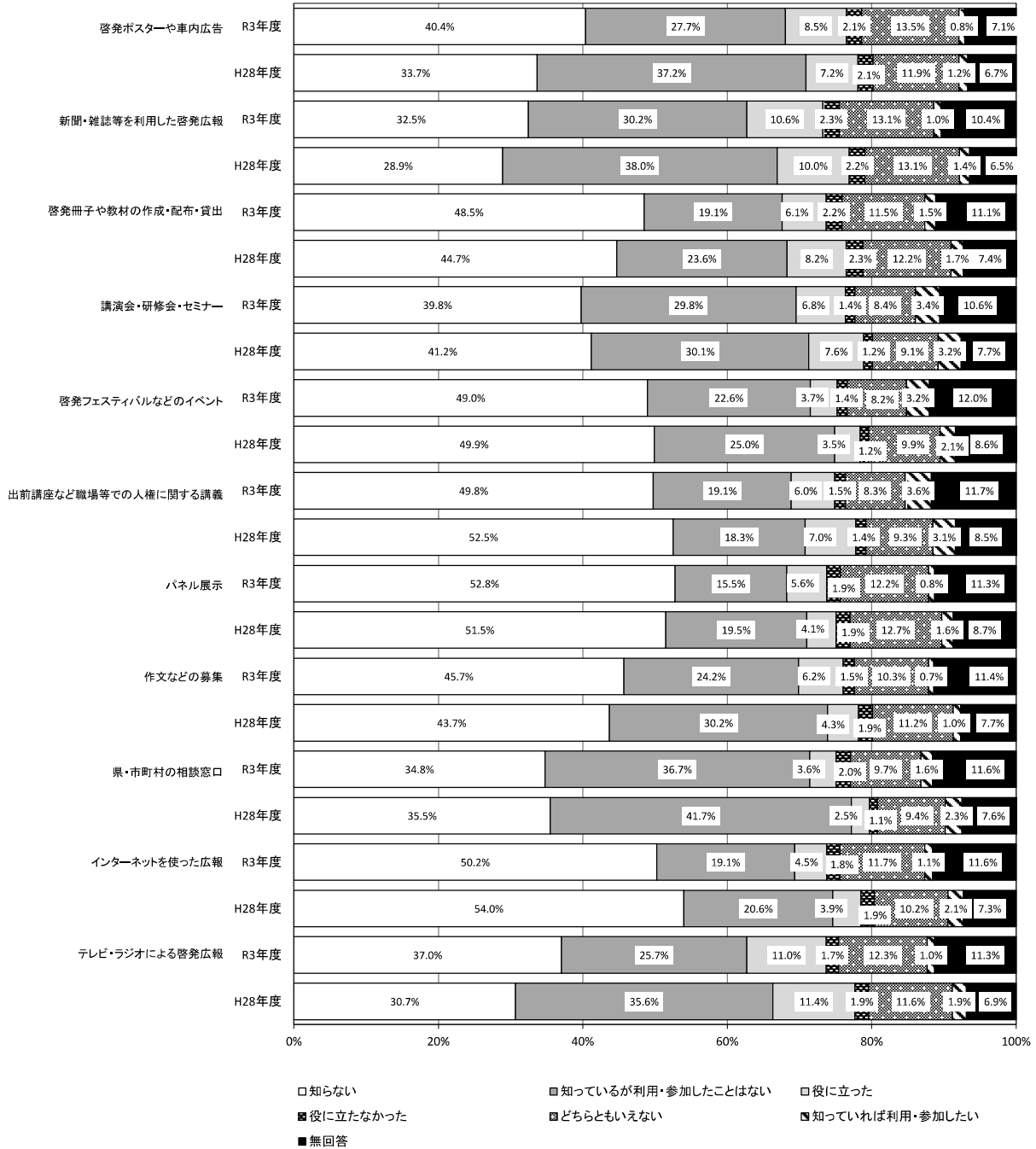
■70歳代以下は「学校での教育」が最も高く、80歳以上は「行政による啓発活動」が最も高くなっている。

■60歳代以下は「職場での人権教育・研修」が、70歳代以上より高くなっている。

■40歳代以上は「行政による啓発活動」が、30歳代以下より高くなっている。

(2) 人権問題の解決に向けた施策の認知および利用・参加後に役立ったか

問 55 人権問題の解決に向けた次のような施策を知っていますか。見て、あるいは、利用・参加して役に立ちましたか。それぞれについて、いずれか1つだけ選んで○をつけてください。



- 「知らない」は、「パネル展示」が52.8%と最も高く、次いで「インターネットを使った広報」が50.2%、「出前講座など職場等での人権に関する講義」が49.8%の順となっている。
- 「知っているが利用・参加したことはない」は、「県・市町村の相談窓口」が36.7%と最も高く、「役に立った」は、「テレビ・ラジオによる啓発広報」が11.0%と最も高く、「知っていれば利用・参加したい」は、「出前講座など職場等での人権に関する講義」が3.6%と最も高くなっている。

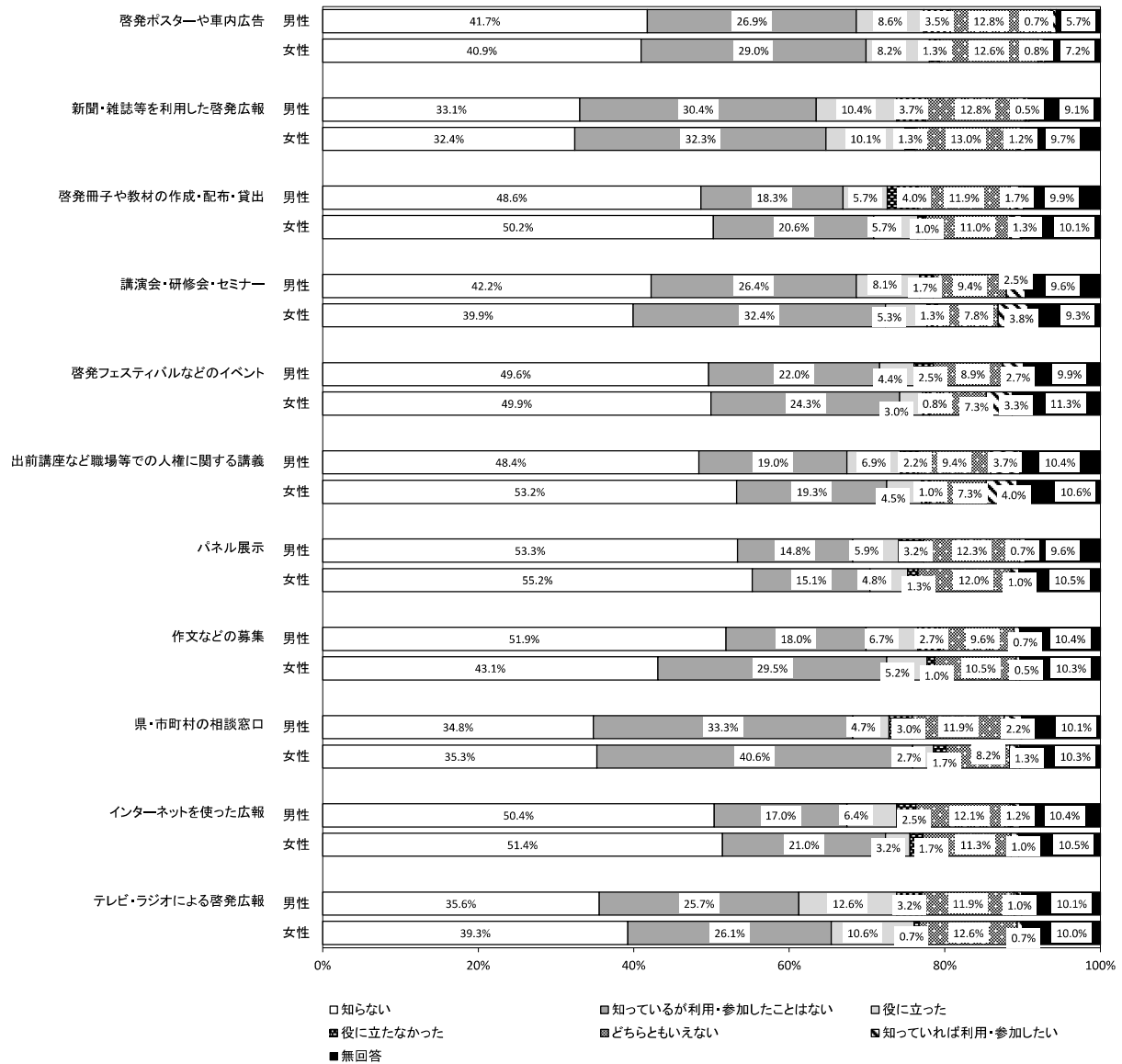
【前回比較】

- 「知らない」は、「啓発ポスターや車内広告」が前回の33.7%より6.7ポイント増加し、「インターネットを使った広報」が前回の54.0%より3.8ポイント減少している。
- 「知っているが利用・参加したことはない」は、いずれの選択肢においても、前回調査より減少している。
- 「役に立った」は、「作文などの募集」、「パネル展示」、「啓発ポスターや車内広告」がやや増加し、「啓発冊子や教材の作成・配布・貸出」が前回の8.2%より2.1ポイント減少している。
- 「知っていれば利用・参加したい」は、「啓発フェスティバルなどのイベント」が前回の2.1%より1.1ポイント増加し、「インターネットを使った広報」が前回の2.1%より1.0%減少している。

※1 前回調査の「啓発冊子や教材」を「啓発冊子や教材の作成・配布・貸出」に変更している。

※2 前回調査の「講演会・研修会」を「講演会・研修会・セミナー」に変更している。

男女別

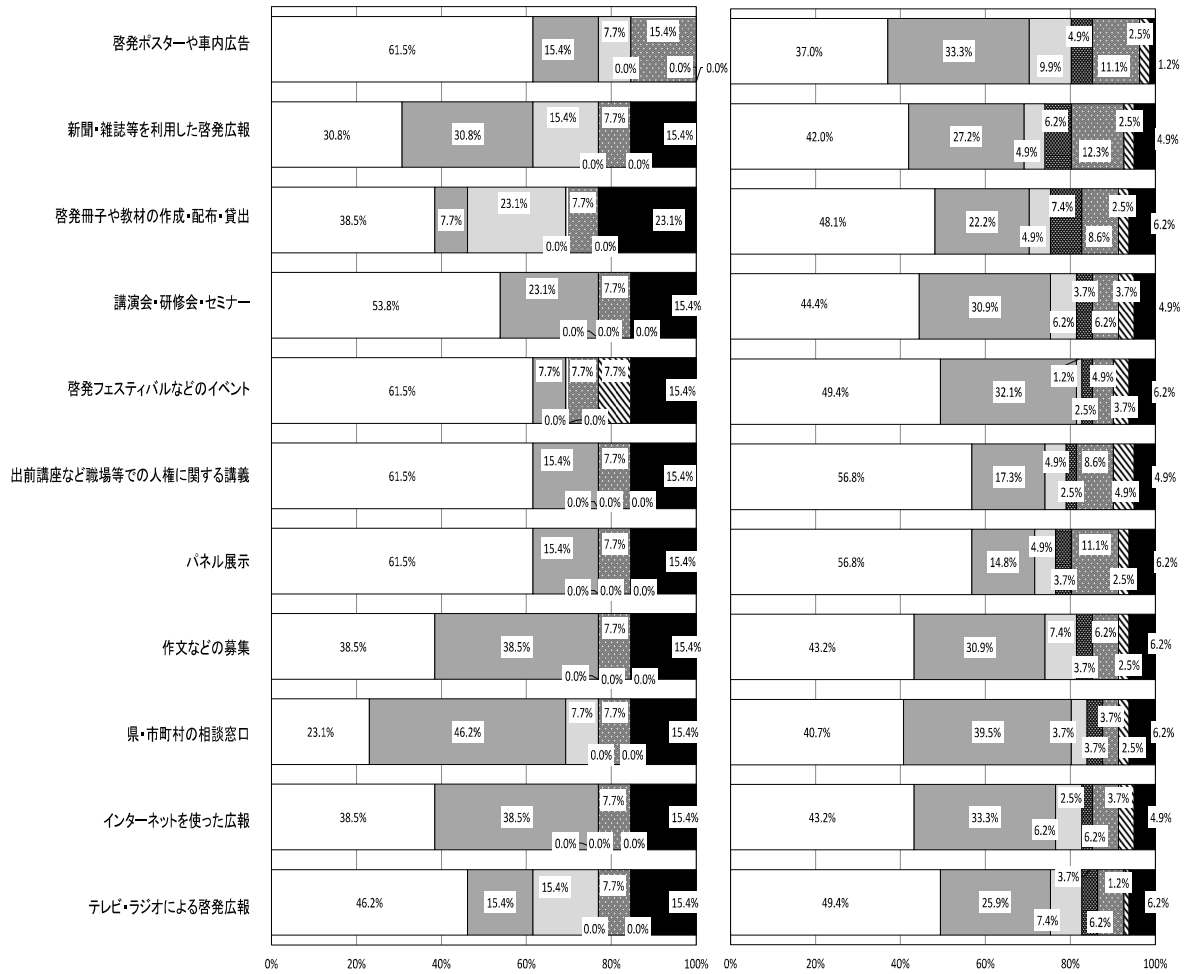


- 男女共に「知らない」は、「パネル展示」と「インターネットを使った広報」が5割を超えている。
- 「知っているが利用・参加したことはない」は、「作文などの募集」では女性が29.5%で男性より11.5ポイント高くなっている。
- 「役に立った」は、「インターネットを使った広報」では男性が6.4%で女性より3.2ポイント高くなっている。
- 「知っていれば利用・参加したい」は、「講演会・研修会・セミナー」では女性が3.8%で男性より1.3ポイント高くなっている。

年代別

18・19歳

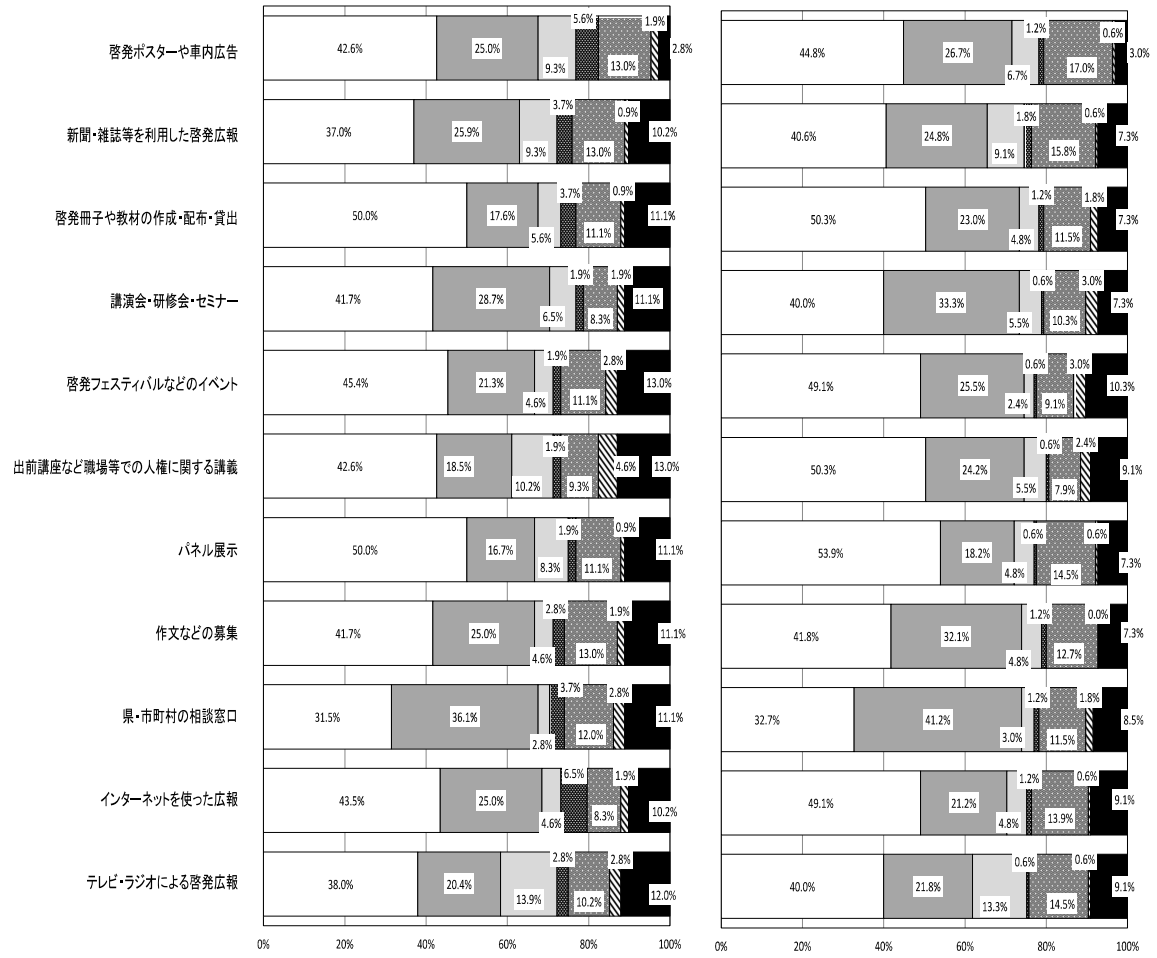
20歳代



知らない ■ 知っているが利用・参加したことはない ■ 役に立った ■ 役に立たなかった ■ どちらともいえない ■ 知っていれば利用・参加したい ■ 無回答

30歳代

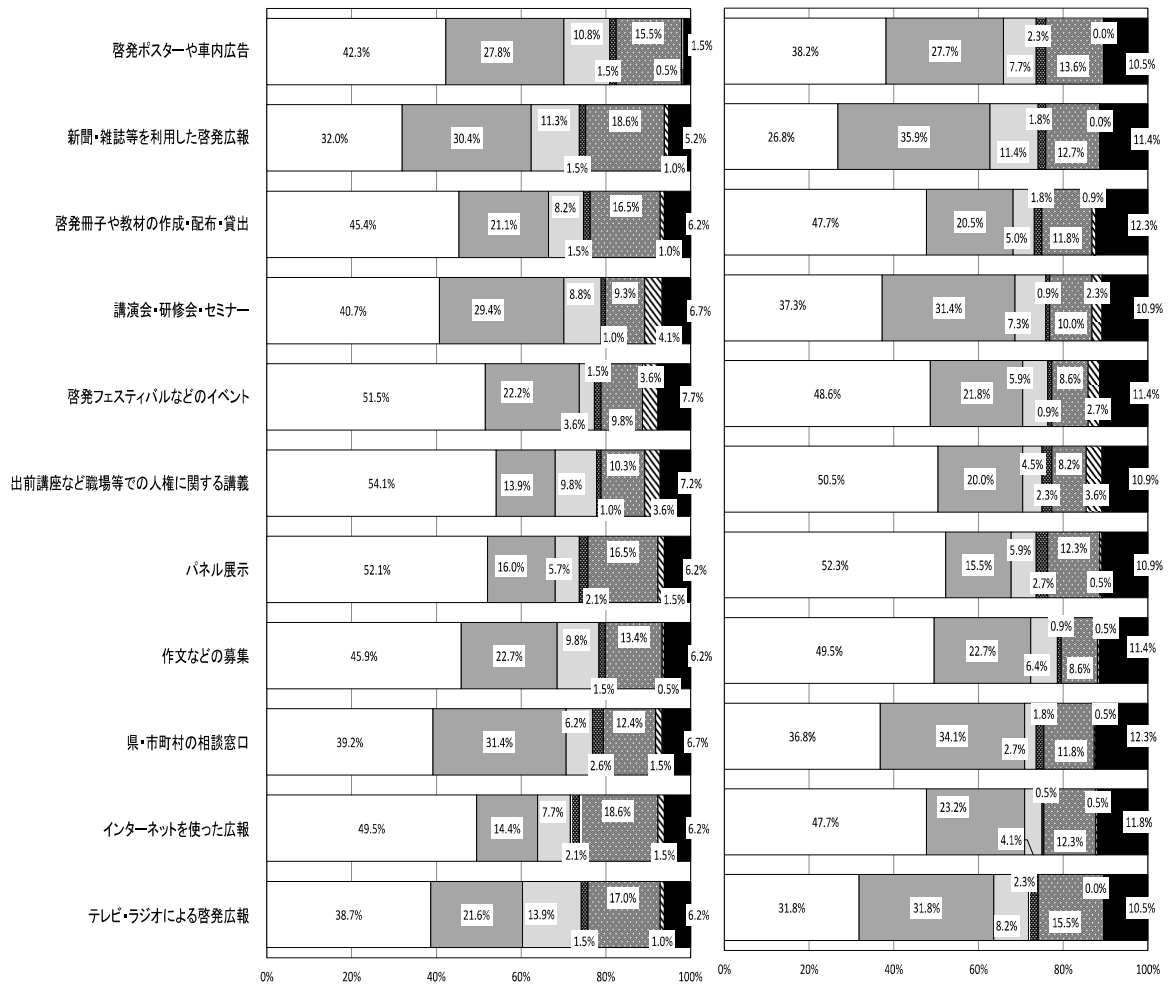
40歳代



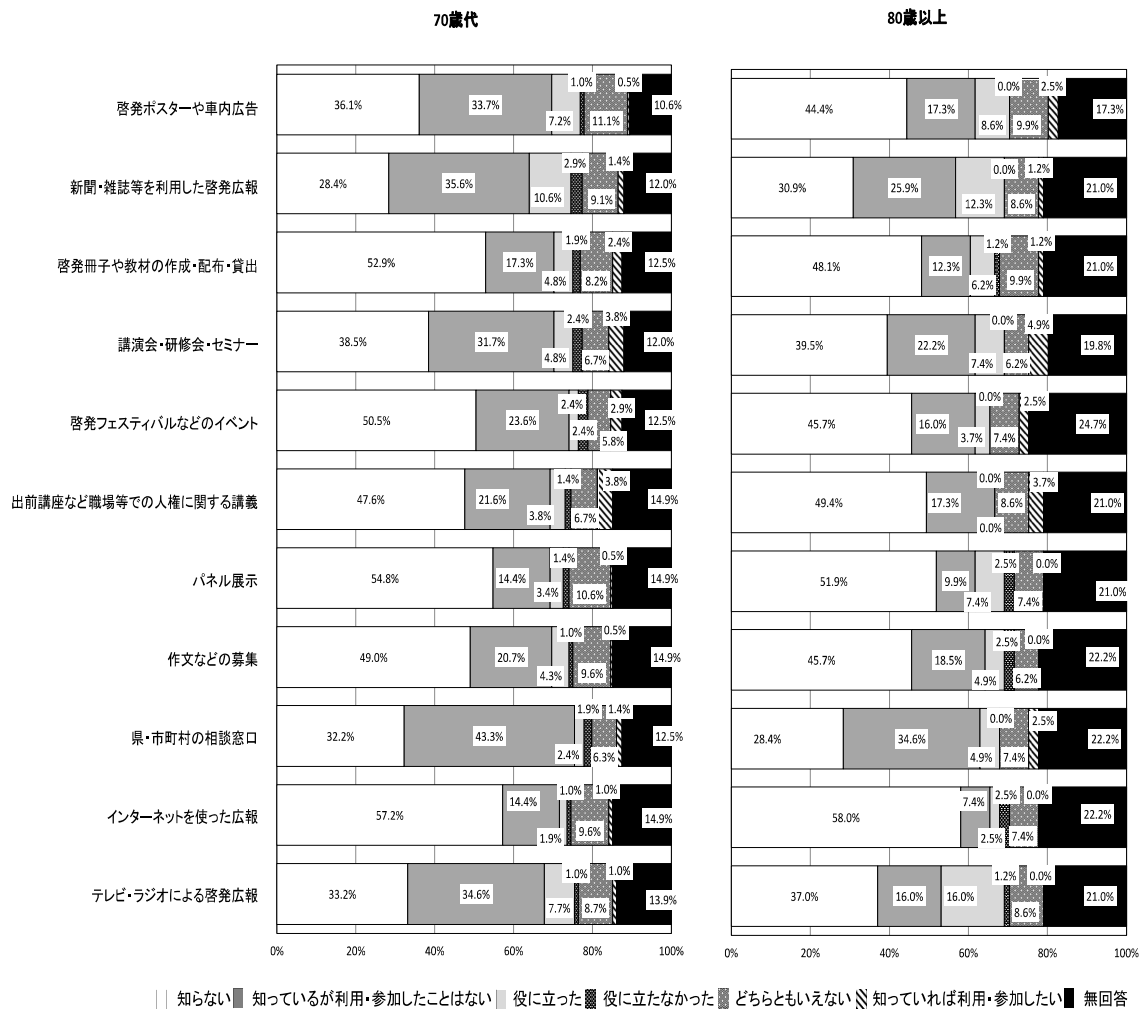
「 知らない ■ 知っているが利用・参加したことはない □ 役に立った ■ 役に立たなかった ■ どちらともいえない ■ 知っていれば利用・参加したい ■ 無回答

50歳代

60歳代



□ 知らない ■ 知っているが利用・参加したことはない ▨ 役に立った ▩ 役に立たなかった ▤ どちらともいえない ▩ 知っていれば利用・参加したい ■ 無回答

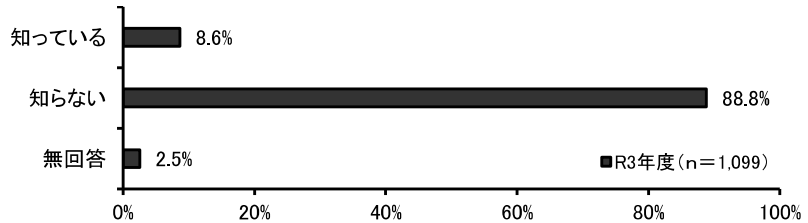


- 「知らない」は、「インターネットを使った広報」では70歳代以上が60歳代以下より高くなっている。
- 「知っているが利用・参加したことはない」は、「県・市町村の相談窓口」では60歳代を除くいずれの年代においても最も高くなっており、60歳代は「新聞・雑誌等を利用した啓発広告」が最も高くなっている。
- 「役に立った」は、20歳代で「啓発ポスターや車内広告」、30～50歳代、80歳以上で「テレビ・ラジオによる啓発広報」、60～70歳代で「新聞・雑誌等を利用した啓発広告」が最も高くなっている。
- 「知っていれば利用・参加したい」は、いずれの年代においても「出前講座など職場等での人権に関する講義」で高い傾向がみられ、特に30歳代以下が高くなっている。

(3) 岐阜県人権啓発センターの認知度

問 56 岐阜県の設置する「岐阜県人権啓発センター」では、問 55 に示された施策のうち、「人権啓発DVD等の貸出し」、「人権啓発出前講座」、「人権相談」など、県民の人権意識を高めるための各種啓発活動を行っています。

あなたは、この「岐阜県人権啓発センター」を知っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

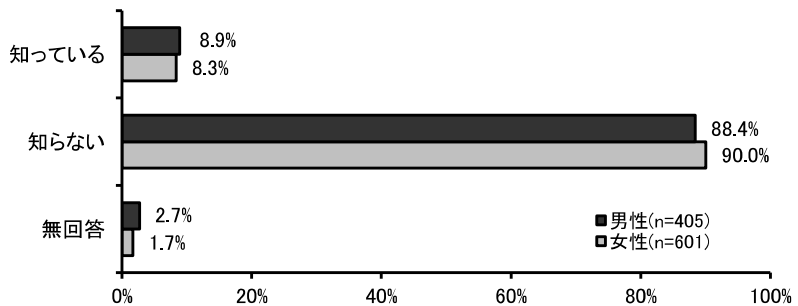


■「知らない」が88.8%と高くなっている。

【前回・前々回比較】

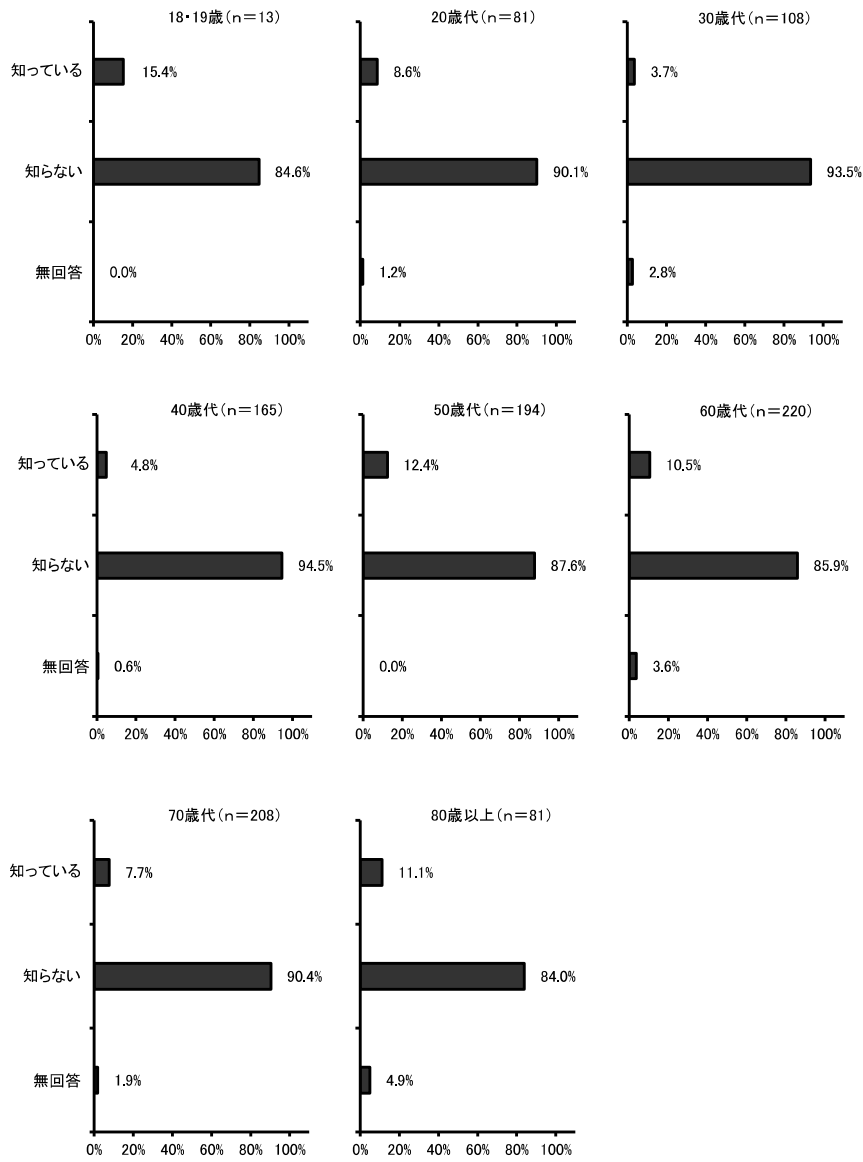
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

男女別



■男女共に「知らない」が高く、8割を超えている。

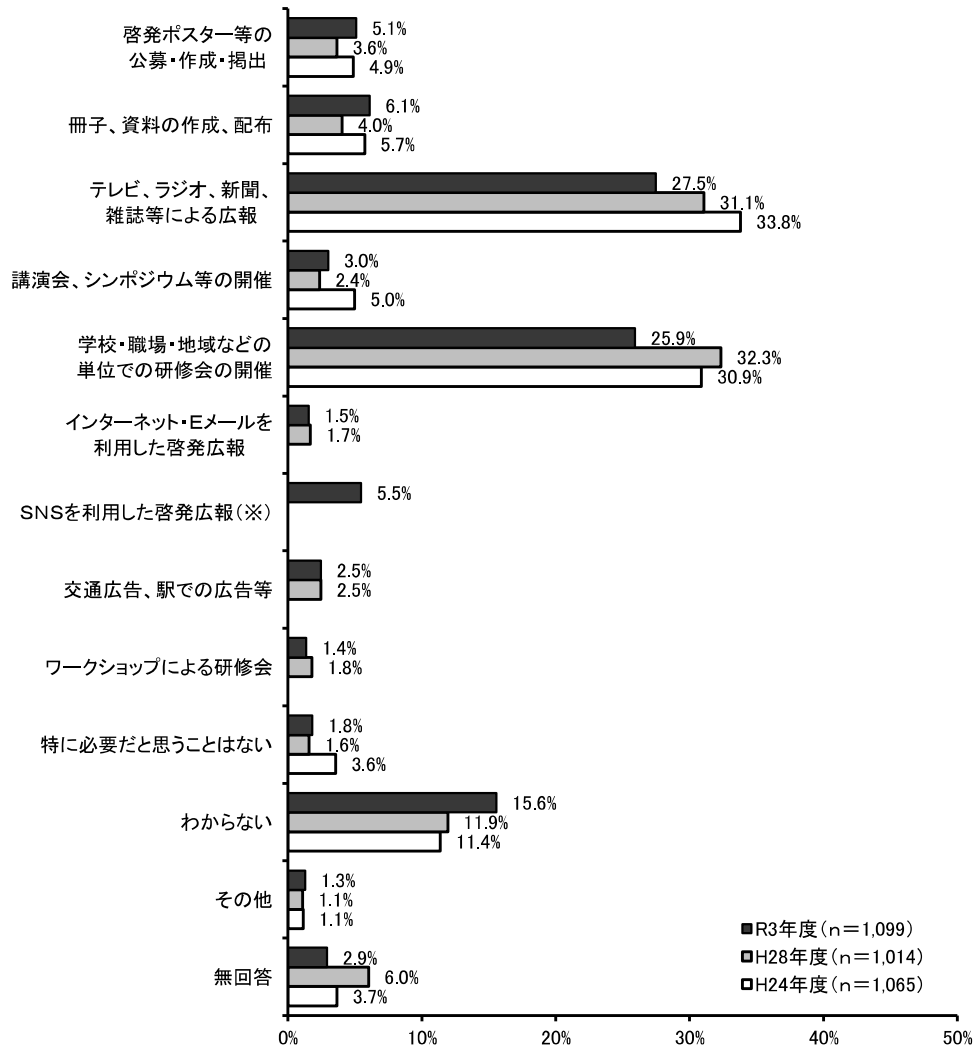
年代別



■ いずれの年代においても「知らない」が高くなっている。

(4) 人権侵害の認識を深めるための人権教育・人権啓発の方法

問 57 人権侵害に関する県民の皆さんの認識を深めるための人権教育・人権啓発の方法について、特にどのようなことが必要だと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



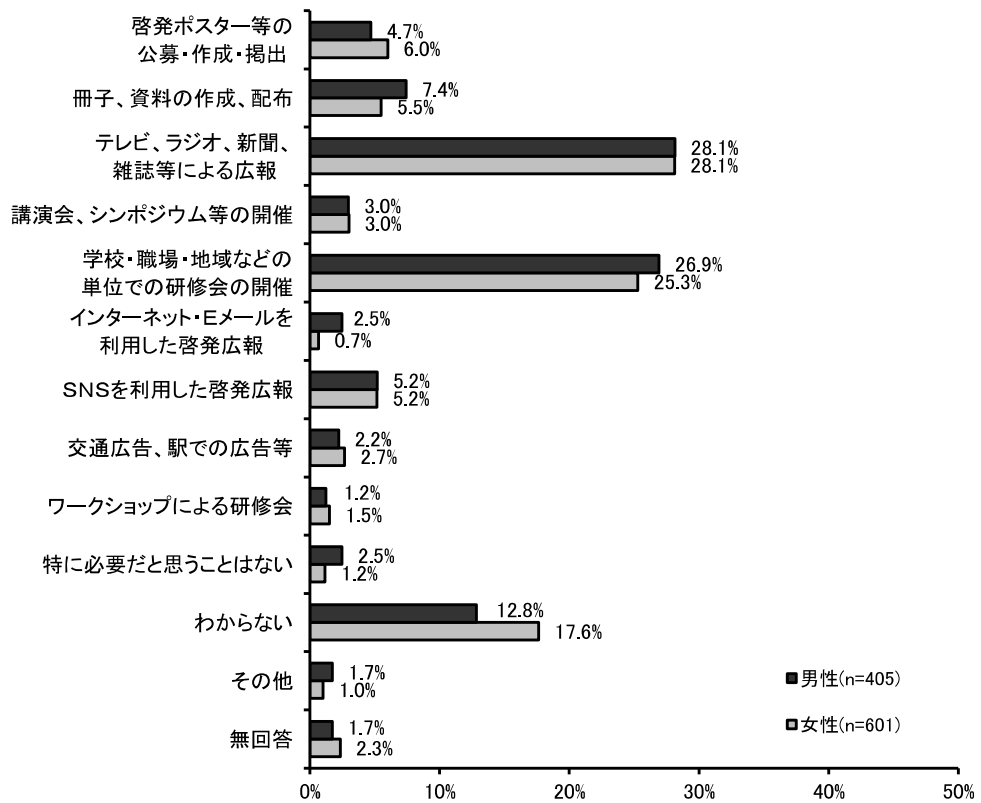
■「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が27.5%と最も高く、次いで「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が25.9%、「わからない」が15.6%の順となっている。

【前回・前々回比較】

- 「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」、「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が高くなっているが、前回よりやや減少している。
- 「わからない」は前回の11.9%より3.7ポイント、前々回の11.4%より4.2ポイント増加している。

※「SNSを利用した啓発広報」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

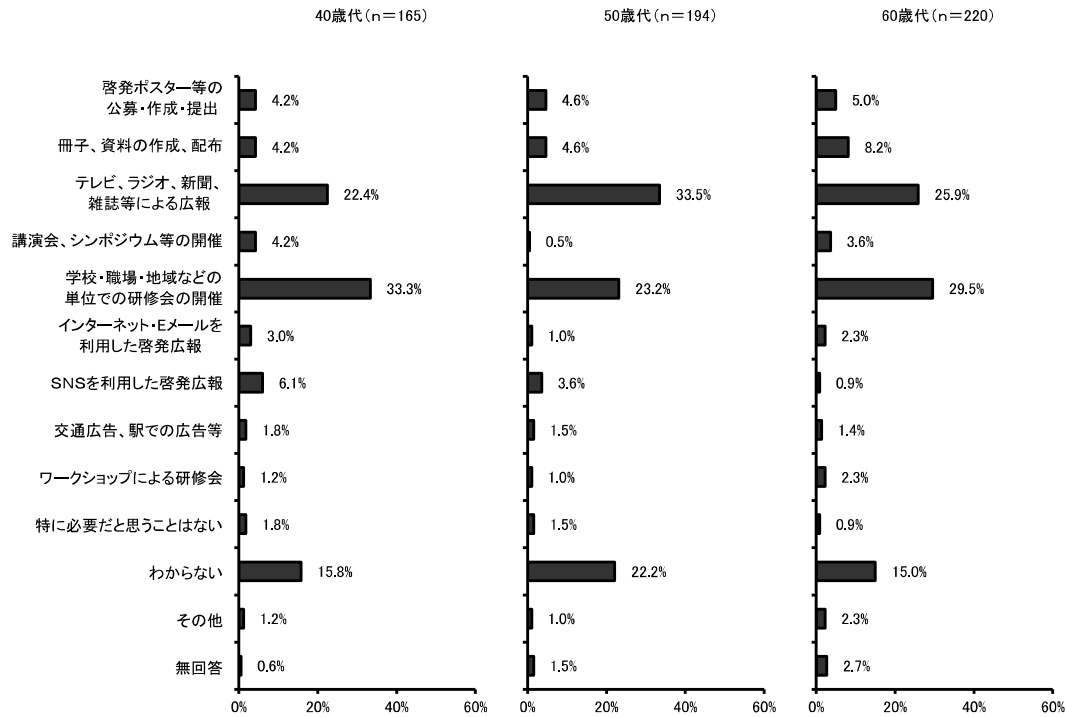
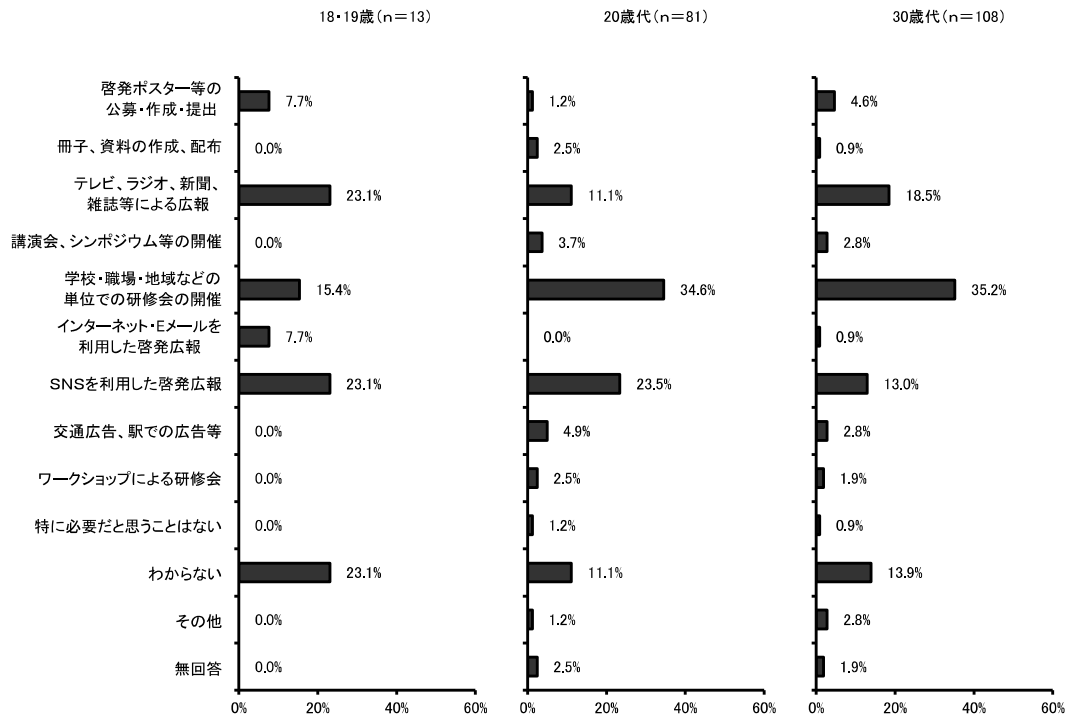
男女別

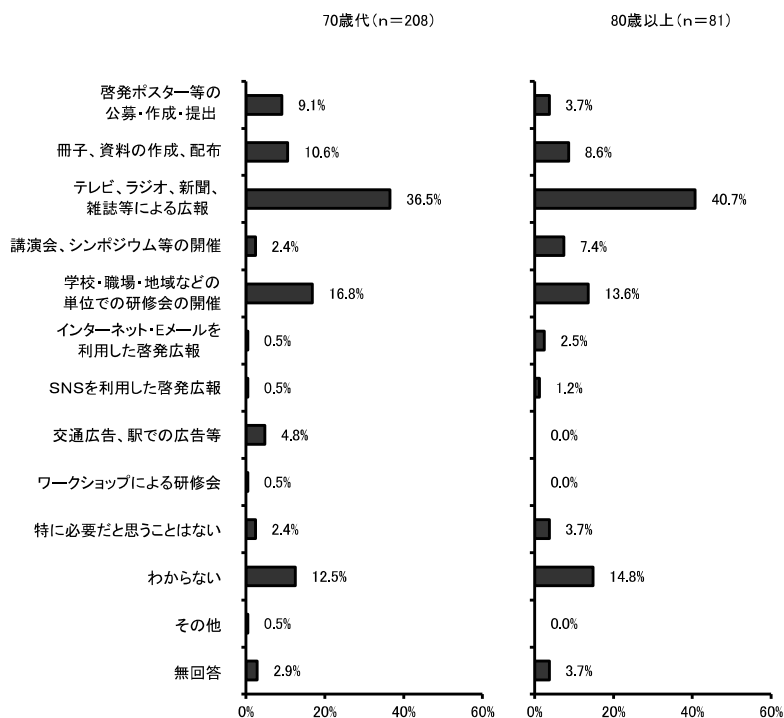


■ 男女の差はほとんどみられない。

■ 男女共に「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」と「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が高くなっている。

年代別





- 20～40 歳代、60 歳代では「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が最も高く、50 歳代、70～80 歳以上は「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が最も高くなっている。
- 「SNS を利用した啓発広報」は、若い年代ほど高い傾向がみられ、20 歳代では「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」に次いで高くなっている。